

あとがき

音に関する研究動向を予測することは、専門の土俵を離れて視野を広げる必要があり、研究一筋の研究者の方々を戸惑わせることは漠然と感じられ、事実そのような声も多々聞かれた。しかし、日頃問題意識を持っておられるのも研究者であり、ご多忙の中あまり負担をかけずにイメージ・思考を拾い上げるため、将来の課題を一行程度で表現してもらうこととした。その結果「より人間にこだわる」というサウンド研究の流れが浮かび上がって来た。

最後に、アンケート調査にご協力頂きました研究者各位に厚くお礼を申し上げます。内容については、検討・考察が不十分な点多々あると思われませんが、至らぬ点のご教示・ご指導を今後とも宜しくお願い申し上げます。

- 編集・文責 (財)サウンド技術振興財団 江沢定明 -